

よって異なっている。

6. 気象データの磁気媒体等による提供

気象庁の保有する多くのデータは各種の気象技術開発、気象気候・環境科学の調査研究のために貴重な基礎的データであり、その公開がかねてより要望されていた。

気象庁部内においてもデータの磁気媒体への収録と活用が進められており、それらの中のある物については当センターからCD-ROMなどの媒体による提供が可能になりつつある。この事については、当センター発行の「気象新聞」平成8年1月号でアナウンスされ、以後多くのお問い合わせをいただいているが、残念な事に、諸般の事情により予定よりも作業が遅れ、平成8年11月末現在CD-ROMで提供可能なのは、

- (1) 地球温暖化予測情報第1巻
- (2) 1995年版アメダス気象年報
- (3) 1995年版高層気象観測年報
- (4) 1995年地上観測年報（平成7年気象庁年報）

であり、それ以外のデータについては準備中である。

数値予報関連データ（客観解析データ）及び静止衛星データ等CMTあるいはMTで提供するデータについてもまずマスター・CMTの整備に努めているが、これもアナウンスした予定よりも若干遅れており、出来るだけ早く予定に追いつくべく努力を続けている。

またユーザーの希望される媒体への変換に大変時間を要するケースも出ている。定型的データ以外のデータや特定の媒体への変換などについてはかなり時間がかかりまた費用を要する場合も有りうると思われる。

過去20年をふりかえると計算機と記録媒体はものすごい速さで進歩してきた。これからもより急速に変化すると思われる。したがって過去のデータを常にその時代の媒体に移しかえながら保存し提供する事はますます重要なそして困難な仕事になるものと思われる。

データについてのご質問は下記にお寄せください。

〒101 東京都千代田区神田錦町3-17

東ネンビル6F

(財) 気象業務支援センター

Tel 03-5281-0440

Fax 03-5281-0443



一覧表

海洋理工学会平成9年度春季大会開催のお知らせ.....	112
「第18回レーザセリングシンポジウム」のお知らせ.....	125
第3回大気化学討論会のお知らせ.....	136